

流域のあらゆる関係者が協働し流域全体で水災害に取り組む流域治水について、今後、実効性ある取組を実践・深化させていくためにはどのようなことが必要となるかをテーマとして、意見（課題や今後の展望など）を記載してください。

【ため池の事前放流について】

・ため池の事前放流は、貯水機能を確保する上で重要な取り組みと思われるが、宮崎土木事務所管内流域における事前放流の実態や事前放流を行った事例があればご教授いただきたい。

【流域治水に関する各施策の効果検証について】

・令和3年度より流域治水プロジェクトを立ち上げて、各機関において様々な取り組みを行っているところであるが、明確な目標がなく、様々な取り組みにより河川水位がどのくらい下がるのかが不明瞭であるため、検証により効果を明らかにすることで、事業計画が立てやすくなったり対内外への説明がしやすくなるのではないかと。